

臨床口腔病理実習

責任者名：浅野 正岳

学期：後期

対象学年：3年

授業形式等：実習

◆担当教員

浅野 正岳(病理学 教授)

福井 怜(病理学 助教)

山本 安希子(病理学 助教)

角田 麻里子(病理学 助教)

小田 泰之(病理学 兼任講師)

木所 義博(病理学 兼任講師)

斎藤 学(病理学 兼任講師)

藤田 裕(病理学 兼任講師)

白野 隆史(病理学 兼任講師)

渡辺 孝夫(病理学 兼任講師)

金子 泰英(病理学 兼任講師)

阿部 成宏(病理学 兼任講師)

小宮山 一雄(特任教授)

◆一般目標 (GIO)

歯科臨床現場における口腔内病変を理解するため、その組織像を中心に観察・学修、診断力を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

口腔内病変について、

- ①病気の原因を説明できる。
- ②病気に罹患した際の変化を説明できる。
- ③疾患の重症や状態を判定できる。
- ④その疾病の予防に必要な知識を説明できる。

◆評価方法

成績は、実習成果物の提出(40%)、平常試験(60%)で評価する。実習成果物は実習終了後にオンラインにて提出させ、評価する。

フィードバックは実習成果物の提出後並びに試験終了後に、顕微鏡画像を用いて対面もしくはオンラインで行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
浅野 正岳	水曜日 17:00~18:00 本館 6階病理学研究室	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	
福井 怜	木曜日 17:00~18:00	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	

	本館 6 階病理学研究室		
山本 安希子	木曜日 17:00~18:00 本館 6 階病理学研究室	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	
角田 麻里子	木曜日 17:00~18:00 本館 6 階病理学研究室	deby20261@g.nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

指定した教科書のどこに何が記載されているのかを明確に示しつつ、板書、スライドを併用して授業を進める。また、必要に応じてプリントを配布し、理解を深めさせる。

実習成果物はオンラインもしくは対面で提出させる。テストは原則対面で行う。

【実務経験】

浅野正岳：病理学講座における教員歴 27 年。病理診断をしている歯科医師の立場から、炎症、変性、循環障害など、身体に変化をもたらす全ての病態を理解した上で、口腔領域の病態への理解を深めてもらいたいと考えている。

福井怜：病理学講座における教員歴 4 年。病理診断をしている歯科医師の立場から、炎症、変性、循環障害など、身体に変化をもたらす全ての病態を理解した上で、口腔領域の病態への理解を深めてもらいたいと考えている。

角田麻里子：病理学講座における教員歴 3 年。病理診断をしている歯科医師の立場から、炎症、変性、循環障害など、身体に変化をもたらす全ての病態を理解した上で、口腔領域の病態への理解を深めてもらいたいと考えている。

山本安希子：病理診断をしている歯科医師の立場から、炎症、変性、循環障害など、身体に変化をもたらす全ての病態を理解した上で、口腔領域の病態への理解を深めてもらいたいと考えている。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	みて学ぶ口腔病理 第 3 版	日本大学歯学部病理学講座編	砂書房	2019
教科書 2	新口腔病理学 第 2 版	下野 正基 他	医歯薬出版	2018
参考書	口腔病理学実習書	日本大学歯学部病理学講座編		2020
参考書	病理学総論にもとづく口腔病理学 第 2 版	井上 孝 他	永末書店	2018
参考書	カラーアトラス口腔組織発生学 第 4 版	磯川 桂太郎 他	わかば出版	2016

◆DP・CP

・DP3

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的思考ができる。

・CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書および参考書等を読んで、実習項目の疾患を理解しておくこと。

病理組織形態についてはアトラスを参照すること。

◆準備学習時間

各々講義時間相当を充てて正常組織の確認および実習書に記載されている基本的事項の予習および復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

解剖学全般(2年前・後期)

組織学(2年前・後期)

口腔組織学(2年後期)

基礎病理(3年前期)

基礎病理実習(3年前期)

臨床口腔病理(3年後期)

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ～ 3		8.25	6 ～ 8	【遠隔】 「講義1」 4. 齲蝕 1)齲蝕の病理 2)エナメル質齲蝕 3)象牙質齲蝕 4)セメント質齲蝕 (教2)pp.32-4	・歯牙硬組織に発症する齲蝕における病理組織学的変化の概要について説明できる。 ・エナメル質, 象牙質, セメント質齲蝕の病理組織学的特徴について説明できる。 ・軟化象牙質や齲蝕円錐について説明できる。	浅野 正岳	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
4 ～ 6		9.1	6 ～ 8	【遠隔】 「講義2」 5. 象牙質・歯髄複合体の病変3 3)退行性変化 (1)変性 (2)萎縮	・象牙質・歯髄複合体における退行性変化について説明できる。 ・歯髄組織における充血性の変化, 急性・慢性歯髄炎の臨床症状や経過また上行性歯髄炎などについて説明できる。さらに歯髄壊死や歯髄壊疽などの病態について説明できる。	浅野 正岳	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

			<p>(3)壊死 4)歯髄炎 (1)歯髄充血 (2)急性歯髄炎 (3)慢性歯髄炎 (4)上行性歯髄炎 (5)歯髄壊死・壊疽 6. 根尖性歯周組織疾患 1)急性根尖性歯周炎 2)慢性根尖性歯周炎 7. 歯内療法の病理 1)歯内療法に伴う組織変化 (教2)pp.50-83 109-115</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・根尖性歯周炎の種類と成因について説明できる。 ・急性・慢性根尖性歯周炎の相違について説明できる。 ・歯内療法に伴う治癒過程について説明できる。 		
7 ～ 9	9.8	6 ～ 8	<p>【遠隔】 「講義3」 6. 辺縁性歯周組織の病変 1)歯周組織の構造 2)歯周病の発生 3)特殊な歯周疾患 4)エプーリス 5)抜歯創の治癒 治癒の病理 (教2)pp.73-102 124-147 (教1)pp.52-55</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・辺縁歯周組織の構造的特徴について学修し、歯周病の発生のメカニズムについて説明できる。 ・特殊な歯周疾患について説明できる。 ・エプーリスについて説明できる。 ・抜歯創の治癒過程や合併症、骨折に伴う組織変化と治癒の過程などについて説明できる。 	浅野 正岳	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
10 ～ 12	9.15	6 ～ 8	<p>【遠隔】 1. 歯の硬組織の病変 1)咬耗症 2)象牙質齶蝕 3)セメント質増殖症 4)第2・第3象牙質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯牙硬組織の疾患について説明できる。 ・咬耗症について説明できる。 ・象牙質齶蝕の病理組織学的特徴について説明できる。 ・セメント質増殖症の形態学的特徴を説明できる。 ・原生象牙質と第2象牙質の違いを説明できる。 	角田 麻里子 小宮山 一雄 山本 安希子 福井 怜 兼任講師	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

				(教1)pp.8, 9, 12, 16			
13 ～ 15		9.22	6 ～ 8	<p>【遠隔】</p> <p>2. 歯髄の退行性病変, 歯髄炎</p> <p>1)象牙粒、石灰変性</p> <p>2)急性化膿性歯髄炎</p> <p>3)慢性潰瘍性歯髄炎</p> <p>4)慢性増殖性歯髄炎</p> <p>(教1)pp.15, 18-20</p>	<p>・象牙粒や石灰変性などの退行性変化について説明できる。</p> <p>・種々のタイプの歯髄炎を観察し、病理組織学的変化について説明できる。</p>	<p>浅野 正岳</p> <p>福井 怜</p> <p>角田 麻里子</p> <p>小宮山 一雄</p> <p>山本 安希子</p> <p>兼任講師</p>	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因子
16 ～ 18		9.29	6 ～ 8	<p>【遠隔】</p> <p>3. 歯肉の炎症に続発する病変・顎骨の病変</p> <p>1)肉芽腫性エプーリス</p> <p>2)骨形成性エプーリス</p> <p>3)骨髄炎</p> <p>4)腐骨</p> <p>(教1)pp.27, 28, 36</p>	<p>・歯肉に生じる限局性腫瘍であるエプーリスの組織像を説明できる。</p> <p>・エプーリスが歯肉に限局して生じる病変であることを組織像から説明できる。</p> <p>・骨髄炎と腐骨の組織像を説明できる。</p>	<p>浅野 正岳</p> <p>福井 怜</p> <p>角田 麻里子</p> <p>小宮山 一雄</p> <p>山本 安希子</p> <p>兼任講師</p>	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因子
19 ～ 21		10.13	6 ～ 8	<p>【遠隔】</p> <p>4. 口腔粘膜病変</p> <p>1)扁平苔癬</p> <p>2)白板症</p> <p>3)上皮内癌</p> <p>4)扁平上皮癌</p> <p>5)免疫染色について</p> <p>(教1)pp.54-57, 124-125</p>	<p>・口腔粘膜疾患である白板症, 扁平苔癬を観察し, 組織学的特徴を説明できる。</p> <p>・前癌病変である白板症から扁平上皮癌に至る一連の病態の流れを説明できる。</p> <p>・異型性について説明できる。</p> <p>・免疫染色について説明できる。</p>	<p>福井 怜</p> <p>角田 麻里子</p> <p>山本 安希子</p> <p>兼任講師</p>	E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患
22 ～ 24		10.20	6 ～ 8	<p>【遠隔】</p> <p>総検1</p>	<p>第10回～から第21回までの標本の見直しを行う。</p>	<p>角田 麻里子</p> <p>小宮山 一雄</p>	

						山本 安希子 福井 怜 兼任講師	
25 ～ 27		10.27	6 ～ 8	【遠隔】 5. 歯原性嚢胞 1)歯根嚢胞 2)含歯性嚢胞 3)歯原性角化嚢胞 4)石灰化歯原性嚢胞 (教1)pp.32-33, 44-45, 75-76, 78-79	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔に発生する歯原性嚢胞の多様性と病因を説明できる。 ・嚢胞性疾患を説明できる。 	浅野 正岳 福井 怜 角田 麻里子 小宮山 一雄 山本 安希子 兼任講師	E-2-4)-(5) 嚢胞
28 ～ 30		11.10	6 ～ 8	【遠隔】 6. 非歯原性嚢胞, 偽嚢胞 1)類皮嚢胞 2)リンパ上皮性嚢胞 3)粘液嚢胞 (教1)pp.51, 50, 94-95	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔に発生する非歯原性嚢胞の多様性と病因を説明できる。 ・嚢胞性疾患を説明できる。 	浅野 正岳 福井 怜 角田 麻里子 小宮山 一雄 山本 安希子 兼任講師	E-2-4)-(5) 嚢胞
31 ～ 33		11.17	6 ～ 8	【遠隔】 7. 歯原性腫瘍1 1)エナメル上皮腫 2)石灰化上皮性歯原性腫瘍 3)腺腫様歯原性腫瘍 4)歯原性粘液腫 (教1)pp.68-69, 71-72, 73-74, 85	<ul style="list-style-type: none"> ・歯原性腫瘍の多様性について説明できる。 ・上皮成分, 歯原性外胚葉性間葉などの用語の意味を理解し, 歯原性腫瘍の組織学的特徴および分類を説明できる。 	福井 怜 角田 麻里子 小宮山 一雄 山本 安希子 兼任講師	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
34 ～ 36		11.24	6 ～ 8	【遠隔】 8. 歯原性腫瘍 2、骨関連病変 1)歯牙腫 2)セメント芽細胞腫 3)骨形成性線維腫	<ul style="list-style-type: none"> ・歯原性腫瘍の WHO 分類について説明できる。 ・代表的な骨関連病変を説明できる。 	角田 麻里子 小宮山 一雄 山本 安希子 福井 怜	E-2-4)-(8) 腫瘍及び腫瘍類似疾患

				4)線維性骨異形成症 (教1)pp.80-83, 86-87, 90, 40-41		兼任講師	
37 ～ 39		12.1	6 ～ 8	【遠隔】 9. 唾液腺腫瘍 1)多形腺腫 2)Warthin 腫瘍 3)粘表皮癌 4)腺様嚢胞癌 (教1)pp.100-101, 103, 106-107, 108	・唾液腺の悪性・良性腫瘍について説明できる。 ・細胞の異型性や被膜の存在などについて説明できる。	角田 麻里子 小宮山 一雄 山本 安希子 福井 怜 兼任講師	E-2-4)-(8) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
40 ～ 42		12.8	6 ～ 8	【遠隔】 総検2	第25回～第39回の標本の見直しを行う。	浅野 正岳 福井 怜 角田 麻里子 山本 安希子	
43 ～ 45		12.14	9 ～ 9	【対面】 平常試験(※水曜日 12/14) 平常試験の解説	・実習内容について試験を行い、理解度を確認する。 ・解説(フィードバック)により授業内容の理解度及びに習熟度を確認する。	浅野 正岳 福井 怜 角田 麻里子 山本 安希子	

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
兼任講師	3000053	小田 泰之
	3000054	木所 義博
	3000055	斎藤 学
	3000056	藤田 裕
	3000057	渡辺 孝夫
	3000058	白野 隆史
	3000059	金子 泰英
	3000535	阿部 成宏

